

新年明けましておめでとうございます。

昨年の11月に佐賀関で起きた大規模火災で犠牲になられた方、被災され現在も避難生活を強いられている多くの皆様に対しまして、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

当協会は長年に亘り木造住宅の耐震化促進をテーマに大分県内の木造住宅の耐震化率を高め都市の防災力の向上に努めてまいりましたが、今回の佐賀関の大規模火災では木造家屋密集地の防火対策の複合的な課題を目の当たりにし、協会員あげて住宅及び非住宅建築の防火対策と耐震化、長年放置された空き家対策、被災者のための仮設住宅の設計等に積極的に取り組み、今後も地域の建築やまちの防災力の向上に貢献していく決意を固めたところです。

さて、当協会は2025年度に創立60周年を迎える、「大分のまちを元気にする建築」をテーマに広く県内で活躍する若手建築家と建築学生の合同参加による60周年記念設計コンペを主催実施いたします。「建築」の力で、人口減少に見舞われ縮小する地域の活力を取り戻せるか、大分の若い建築家の持てる力を皆様に披露させていただきたいと発案いたしました。

入賞作品は2月13日～15日の間大分市のアートプラザに展示いたします。

最後に、当協会は本年も建築設計を取り巻く環境と社会的要件の変化に適応した設計事務所の実現を目指して歩んでまいります。

本年も皆様の絶大なるご支援を大分県下の建築設計事務所に寄せていただけますようお願い申し上げまして新年のご挨拶に代えさせていただきます。



会長 仲摩 和雄